

親鸞聖人出家得度時の 無常詠歌の謎

なかじ こうしん

中路孝信著 ▼46判・並製カバー・138頁 定価 一、六五〇円

2023年9月刊行



出家得度時に親鸞聖人が「はかない桜の花」に「明日をも知れぬ人の命」を重ねて詠んだとされる歌。それは本当に親鸞聖人の歌なのか？

【目次】

推薦の辞 浄土真宗本願寺派勸学・龍谷大学名誉教授 林智康
 総説 親鸞聖人出家得度時の詠歌

- 一 親鸞聖人出家得度時の無常の詠歌はとりかえられた
- 二 本書の構成

第一章 親鸞聖人と詠歌

- はじめに
- 一 親鸞聖人の出家得度時の無常の詠歌について
- 二 詠歌の伝承
- 三 古伝親鸞聖人の詠歌
- 四 『親鸞聖人伊呂波歌』について
- 五 聖人の遺跡における詠歌
- 六 『説法用歌集』などについて
- 七 『御伝鈔』の伝播と絵解き
- むすび

第二章 新展開 蓮如上人の詠歌と諸伝

- はじめに
- 一 蓮如上人の詠歌としての存在
- 二 『釈教玉林和歌集』
- 三 粟津義圭の『御伝鈔演義』一への見方を変える
- 四 義圭を遡る無常の詠歌資料『真宗勸化積要鈔』
- 五 霜雪をもいたたく
- 六 「古歌謡」
- 七 蓮如上人の詠歌と粟津義圭の用いた詠歌
- 八 親鸞聖人が無常の詠歌を詠まれたとする根拠
- 九 親鸞聖人は無常の詠歌を詠まなかったとする根拠
- 十 『しんらん記』の影響か——言い回しに疑念
- むすび

第三章 親鸞聖人の伝承
 ——「親鸞聖人御臨末の御書」についての一考察

- はじめに
- 一 伝承の発祥
- 二 伝承の収集と出版
- 三 批判の書
- 四 伝承のまとめ
- むすび

第四章 特異な傾向を示す詠歌

- 一 詠歌を伴った最初の親鸞聖人伝
 - 二 越後七不思議と詠歌
 - 三 古浄瑠璃「よこぞねの平太郎」
 - 四 「北越之聖跡図」について
 - 五 親鸞聖人伝の奇瑞談について
- 後日談 蓮如上人のこころ
 初出一覧／あとがき

◆著者略歴

中路孝信（なかじ こうしん）
 昭和二〇年（一九三五）九月二四日、滋賀県高島市徳善寺に生まれる。龍谷大学文学部仏教学科卒。滋賀県事務吏員。浄土真宗本願寺派専応寺住職。龍谷大学仏教文化研究所客員研究員。真宗連合学会元会員。瑞門会長。
 論文 共同研究「親鸞聖人伝の注釈書の研究（二）」『龍谷大学仏教文化研究所研究紀要』第三八集（一九九九年）、「親鸞聖人の伝承——「親鸞聖人御臨末の御書」についての考察」『真宗研究』第四七輯（二〇〇三年）、「親鸞聖人出家得度時の詠歌の形成」『日本浄土教の諸問題——浅井成海先生古稀記念論集』永田文昌堂（二〇一二年）。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
中路孝信著 法藏館 親鸞聖人出家得度時の 無常詠歌の謎	
ISBN:978-4-8318-8783-2 C0015	定価 一、六五〇円
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

仏教・真宗